

# 第12回人権ショートストーリー入賞作品

## (小・中学生の部)

### 最優秀賞

「あーちゃんへ」

病気でねたきりになってしまったあーちゃん。でもだいじょうぶ。今度は私が目となり足となりささえてあげるよ。あーちゃんが人の役に立てる幸せを私にくれたよ。ありがとう。これからもずっと一緒だよ。

### 優秀賞

「おばあちゃん」

おばあちゃんは変に気を使って私が友達と居る時は声をかけてこなくなった車イス姿の自分はずかしいだろうからだってママから聞かされたときは腹がたって悔しかったはずかしくなんかないのに

### 優秀賞

「無題」

私の両親は私が小学三年生の時に離婚しました。だから私は名字を変えました。名字を変え学校に行くとなぜ変わったのといろいろな人に聞かれ傷付きました。父や母がいない事はおかしい事なのではないでしょうか。

### 優秀賞

「好きに性別は関係ない」

「女のくせに」とか「男のくせに」という人がいるけれど、女の子だってサッカーが面白いと思ったり、男の子だってピアノをひくのが楽しいと思ったりする。好きに性別は関係ない。

## 佳作

「二人のおばあちゃん」

補聴器がないと、ほとんど聞こえないおばあちゃん。花柄のつえを持ってむかえてくれるおばあちゃん。二人は、ぼくのおばあちゃん。いつか、ぼくが二人の耳と足になってあげる。今は、はずかしくて言えないけれど。

## 佳作

「生きている限り」

「うざい」「死ね」そんな言葉で人を傷つける 国や言葉が違ってたって 目が見えなくて 声が出せなくたって。そんなの関係ない。私たちは生きているのだから。「ありがとう」「ごめんなさい」あなたはきっと変わる。

## 佳作

「てんごくのばあばあへ」

ぼくのことずっとみまもってくれてありがとう。まいにちいっぱいおしゃべりしてたのしかったよ。またあいたいです。ぼくのことわすれないでね。ばあばあはぼくのたからものです。

## 佳作

「いじめについて」

きずつく事を言われたり、されたりして、「自分さえいなければいい。」と考え、自殺した人の事をニュースでみるたび、私はむねが苦しくなります。なぜ人は人をきずつけるのでしょうか？私にはわかりません。

## 佳作

「お兄ちゃんへ」

お兄ちゃん、いつもいっしょにあそんでくれてありがとう。べん強を見てくれてありがとう。ぼくはお兄ちゃんがいるからさみしくありません。でも、お兄ちゃんが中学生になるのは、ちょっとさみしいです。

## ( 高校 ・ 一般 の 部 )

### 最 優 秀 賞

「日本一格好いいタクシー運転手さんへ」

覚えていますか？街で友人が突然産気づいた時、病院に届けてもらった者です。支払いの時、「ご祝儀だ、とっとけ！」と言い、仕事に戻られた貴方は、日本一格好いい運転手だと思います。

### 優 秀 賞

「難しい」

人を傷つけないで生きることは難しい。悪意を持たずに行ったことが、差別や偏見に繋がることもある。それでも私達は人を傷つけない困難な道を捜し進むべきだ。その困難に挑む精神こそ差別をなくす気高き第一歩だ。

### 優 秀 賞

「白い杖を持った淑女へ」

白杖を持った貴方が、老人に席を譲るのを見て驚きました。と同時に、障害者は席を譲らなくていいと思い込んでいた自分を恥じました。ずっと健康な足腰でいてください。私も頑張って席を譲れるようになります。

### 優 秀 賞

「足の不自由な君へ」

ボランティアって、健常者が奉仕活動する事だと思っていた。健常者が障害者を理解して、手を差し伸べることだと思っていた。でも君を見ていたら、それは間違いだと気づいたよ。みんな誰かの助けになりたいんだ。

## 佳作

「母よ」

私が「デブ」と言われたら「健康的」、「頓珍漢」と言われたら「夢を叶えて見返しなさい」。母よ、私は念願の教師になりました。未来を担う子どもたちに、伝えるべきことを教えてくれてありがとう。

## 佳作

「徒弟へ」

「お兄ちゃん、今何時？」自閉症の君は、時間がよくわからないんだよね。そんな君が認知症の祖母に「もうすぐお昼だからね」と優しく話しかけていた。人の事だと時間が分かるんだね。みんな、君が大好きです。

## 佳作

「亡き母へ」

身体障害を抱える故に、差別や偏見を受けるでしょう。でも挫けず清く真っ直ぐに生きて、多くの友人を作りなさい。母の言った意味が判ってきたよ。それぞれの個性が異なって、お互いを認め合い生きることを学んだ思い。

## 佳作

「息子を毛嫌いする父へ」

頸椎手術から八年、未だに寝たり起きたりで、何もできない私。地中に眠る虫のように布団の中で、もがいている。けれども認めてほしい。虫にも気持ちがあることを。私は今日も生きている。

## 佳作

「クラスのみんなへ」

汚い言葉や石を投げつけられたら、キミはどう思う？靴や本を隠されたりしたら、仲間外れにされたら、君はどう思うかな。心が痛くて、痛くて暗く沈むよね。「一緒に遊ぼう」その一言で、みんな明るくなるんだよ。